



＜半導体生産の重要拠点形成＞ 「みやぎ半導体産業振興ビジョン」について

1 策定の趣旨等

▽ 本県産業経済の更なる発展には**半導体関連産業の誘致・集積**が極めて重要
→「国内における半導体生産の重要拠点」形成に向けた県の基本的な取組方針を策定

みやぎ半導体産業振興ビジョンの位置付け

県の総合計画「新・宮城の将来ビジョン」等の
半導体関連産業分野の個別戦略

【新・宮城の将来ビジョン】

政策推進の基本方向1

富県宮城を支える**県内産業の持続的な成長促進**

【新・宮城の将来ビジョン実施計画（中期）】

取組1 産学連携によるものづくり産業等の発展等

半導体関連産業については、その振興に向け、
将来を見据えた**関連産業の誘致・集積、半導体人
材の育成・確保等**に取り組めます（※一部抜粋）

ビジョンの対象期間

2030年（令和12年）まで※とし、適宜見直し

※「新・宮城の将来ビジョン」及び
国の「半導体・デジタル産業戦略」に準拠

ビジョンの策定経過

令和6年3月	補正予算で調査費等を措置
4月～	ビジョン策定に着手
10月～	半導体工場建設計画の中止を 踏まえ、内容を一部見直し
12月	中間案を県議会に報告
令和7年 1月～	関係者に再度意見を伺いながら ビジョンの最終案を調製
3月12日	最終案を県議会に報告

2 全体像（目指す姿）

▽ 本県の立地ポテンシャルや、これまでの誘致活動で培った知見・ノウハウ等を活かし、
国内における**半導体生産の重要拠点（＝みやぎシリコンバレー）**となることを目指す

ビジョン全体像

我が国における**半導体生産の重要拠点**
「**みやぎシリコンバレー**」の形成をめざす

当面の取組

本県の優位性向上
関連産業の集積

大学等と連携した
育成プログラムの創設

半導体人材の
育成・確保

半導体分野への
参入促進・取引創出

金融機関等と連携した
取引機会の創出

関係団体等と連携した
半導体業界を知る機会の提供

戦略的誘致活動

大規模事業用地の確保

先進地域の
取組研究・横展開

富県戦略による関連企業の集積
半導体製造装置・自動車

東北大学
世界トップレベルの
半導体研究・人材育成拠点

優位性

本県が有する
生産拠点としての
ポテンシャル

優れた立地環境

土地・操業インフラ・交通アクセス・住環境

土壌

国の政策を踏まえた
半導体産業の誘致

国策としての半導体生産拠点の確保「半導体・デジタル産業戦略」

3 アクションプラン

▽ 誘致活動に連動した**立地環境の優位性向上**と
進捗等に応じた**段階的な基盤整備**に取り組んでいく

フェーズ2 拠点の柱となる半導体工場の誘致

- ✓ 誘致工場の建設・操業支援（インフラ拡充含む）
- ✓ 行政・企業・大学が一体となった
半導体人材育成プログラムの実現
- ✓ 産業集積・取引拡大に向けた
官民連携協議体の設立

フェーズ1 誘致活動と連動した本県の立地ポテンシャル向上

- ✓ ターゲットとなる半導体メーカーへの誘致活動
- ✓ 大学・関係機関等と連携した「半導体業界を知る機会」の創出
- ✓ 先進地域のベンチマーク等を通じた「取引創出」の仕組みづくり
- ✓ 大規模事業用地（将来用地）の確保検討

フェーズ3 半導体エコシステムの構築

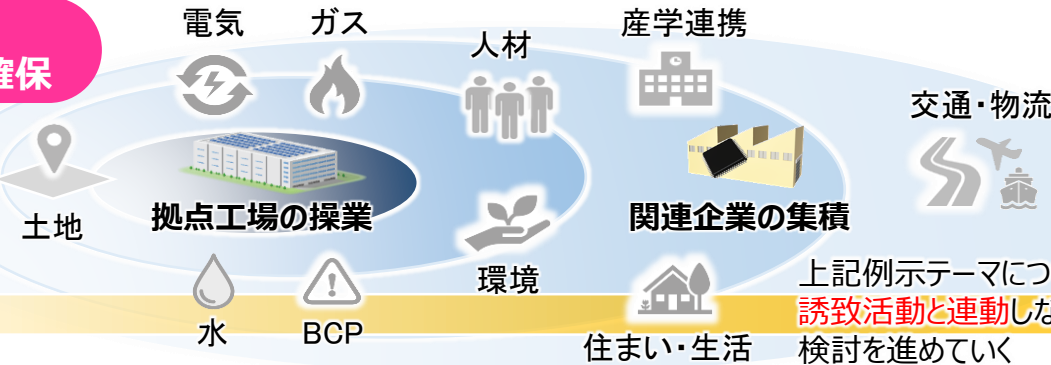
- ✓ エコシステム構築に向けた誘致活動
- ✓ 水資源・環境保全、グリーン電力
- ✓ グローバル人材の受入環境整備

半導体生産の重要拠点
みやぎシリコンバレー

4 当面の取組

大規模 事業用地の確保

庁内横断
検討チームの
立ち上げ



半導体人材の育成・確保

● 東北大学による
育成プログラム開発支援

学習・育成
機会の提供

業界を知る
機会の創出

オンデマンド
講座利用促進

● 県内大学等での
オープンセミナー開催等

機運醸成
● 啓発イベント等

半導体分野への参入促進・取引創出

国内外の企業による
投資促進

技術力発信
商談機会創出

参入に向けた体制整備支援

先進地域の事例研究

商談会・展示会等

生産性向上・
技術開発等
伴走支援

金融機関等との
連携調査